もぐもぐだより

宮津市学校給食委員会
献立作成部会
令和８年１０月２６日
No.6

読書週間がやってきました！

10月27日～11月9日は読書週間です！　終戦後の1947年、戦争の傷痕が残っている中、「読書の力で、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと始まりました。そこで、給食でもその本にちなんだメニューを出します。楽しく本を読みながら、給食も味わいましょう！



本の紹介



「ぶたにく」

写真・文：大西暢夫（幻冬舎）



＜出版社からの内容紹介＞
お肉はどこからやってくる？
お米、野菜は、どうやって育つかを知っている。
でも、ぶた肉がどうやって食卓へあがるのかは知らない！
鹿児島市にある知的障害者施設が舞台。
そこでは障害を持つ方たちが、とても大切にぶたを育てている。ぶたの餌は小学校の残飯。私たち人間が残したものをぶたは食べ、10か月で出荷され、ぶた肉となる。
「いのち」「食」を学ぶドキュメンタリー絵本。

10月28日のメニュー。豚肉を使った「大根と豚肉のピリ辛煮」を作ります。

「エミリの小さな包丁」

作：森沢明夫（角川文庫）



＜出版社からの内容紹介＞
恋人に振られ、職業もお金も居場所もすべてを失ったエミリに救いの手をさしのべてくれたのは、10年以上連絡を取っていなかった母方の祖父だった。人間のかぎりない温かさと心の再生を描いた、癒しの物語。

10月27日のメニュー。「サワラのマーマレード焼き」を作ります。

「大豆まるごと図鑑　すがたをかえる大豆」

監修：国分牧衛（金の星社）



＜出版社からの内容紹介＞
豆腐、納豆、きな粉、みそ、しょうゆなど、食品や調味料に姿を変える大豆。それらができるまでや、大豆の原産地、種類、栄養、栽培方法、料理、アレルギー、日本文化との関わりなど、詳しく解説。大豆に関する知識や情報を豊富な写真とイラストで紹介した図鑑です。

10月29日のメニュー。大豆もやしや豆乳、みそ、厚揚げなど大豆製品をたくさん使ったメニューです。

「ハロウィンのかぼちゃをかざろう」

作：パトリシア・トート　絵：ジャーヴィス　訳：なかがわちひろ（ＢＬ出版）



＜出版社からの内容紹介＞

もうすぐハロウィン。さあ準備をはじめよう。かぼちゃを買って、道具をそろえ、てっぺんをきってもらったら、たねとわたをかきだして・・・。

光をともしたジャックオランタンは子どもたちの味方。お菓子をもらいにいくあいだ、悪いまものから守ります。子どもたちと一緒に読んで、ハロウィンをいっそう楽しもう！

10月30日のメニュー。「かぼちゃのカラフルライス」を作ります。

「おかし」

作：なかがわりえこ　絵：やまわきゆりこ（福音館書店）



＜出版社からの内容紹介＞

おせんべ、キャンディ、ケーキにクッキー。おやつに大好きなおかしがでてくると、どんなにつまらない気分のときだって、なんだかにっこり。ふしぎと力がわいてくるのではなぜでしょう？『ぐりとぐら』の大きなカステラで、子どもたちをおどろかせた名コンビが、おかしにこめられたひみつのパワーをときあかします。

11月4日のメニュー。「米粉のバナナケーキ」を作ります。

「崖の上のポニョ」

作・絵：宮崎駿　（徳間書店）



＜出版社からの内容紹介＞

崖の上の家に住む、5歳の男の子宗介が、ある日海岸で助けたのは、さかなの女の子ポニョ。父によって海に連れもどされたポニョは、再び宗介のいる人間の世界を目指します。ところが、危険な力を持つ生命の水がまき散らされたため、崖に大津波が押し寄せ…？宮崎駿監督の大人気映画の絵本化！

11月2日のメニュー。「ポニョのハムラーメン」を作ります。

「タスキメシ」

作：額賀澪（小学館文庫）



＜出版社からの内容紹介＞

陸上部で長距離選手として活躍していた眞家早馬は、右ひざの剥離骨折という大けがを負い、長くリハビリに励んでいた。

しかし、たった一人で料理研究部として活動している井坂都と出会ったことをきっかけに、徐々に料理に没頭するようになる。

同じ陸上部の弟・春馬、陸上部部長の親友・助川、ライバル校の藤宮らは、早馬が競技に戻ってくることを切実に待っている。しかしそれとは裏腹に、早馬はどんどん競技から離れていく。

それぞれの想いが交錯する中、駅伝大会がスタートする―。

11月5日のメニュー。「肉いっぱい甘口カレー」を作ります。